



## 2024年10月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年6月13日

上場会社名 アイ・ケイ・ケイホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2198 URL <https://www.ikk-grp.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長CEO (氏名) 金子 和斗志

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 永島 和也

TEL 050-3539-1122

四半期報告書提出予定日 2024年6月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年10月期第2四半期の連結業績(2023年11月1日～2024年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第2四半期	10,996	10.7	960	246.2	973	220.3	625	455.1
2023年10月期第2四半期	9,937	30.5	277		304	80.9	112	7.8

(注) 包括利益 2024年10月期第2四半期 619百万円 (456.5%) 2023年10月期第2四半期 111百万円 (20.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第2四半期	21.77	
2023年10月期第2四半期	3.87	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年10月期第2四半期	19,349	9,501	48.9
2023年10月期	20,012	10,050	50.0

(参考) 自己資本 2024年10月期第2四半期 9,461百万円 2023年10月期 10,014百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期		0.00		24.00	24.00
2024年10月期		0.00			
2024年10月期(予想)				24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年10月期の連結業績予想(2023年11月1日～2024年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,350	6.2	2,130	8.9	2,145	7.0	1,420	5.9	49.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) - 、 除外 社 (社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年10月期2Q	29,956,800 株	2023年10月期	29,956,800 株
期末自己株式数	2024年10月期2Q	1,366,027 株	2023年10月期	645,632 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年10月期2Q	28,731,778 株	2023年10月期2Q	29,142,484 株

(注)2023年12月11日開催の取締役会において、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship)」の再導入を決議いたしました。自己株式については、当四半期連結会計期間末にアイ・ケイ・ケイホールディングス従業員持株会専用信託が所有する731,100株を含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年11月1日から2024年4月30日まで）におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化に伴い、雇用情勢や所得環境が改善されたものの、物価上昇等により個人消費の持ち直しに足踏みが見られました。一方で、各国との金利差による円安が長期化しており、インバウンド需要は回復しているものの世界各地の地政学的リスクは高まっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

ウェディング業界におきましては、2023年の婚姻件数が48万組（厚生労働省「2023年 人口動態統計速報の年間推計」）と前年と比べ3万組減少しており、結婚適齢期人口の減少を背景に、挙式・披露宴件数は緩やかに減少傾向にあるものの、ゲストハウス・ウェディング市場は概ね底堅く推移しております。

このような状況の下、結婚式に対する価値観の多様化が広がるなかで、当社グループは「ご縁ある人々の笑顔と幸せのために行動し、挑戦する」という経営理念に基づき、パーソナルなウェディングやサービスを提供すべく、スタッフの人間力・接客力向上を目的とした社内外の研修、独自の営業支援システムを活用した情報収集力・分析力を強化し、各施策に積極的に取り組んでまいりました。また、ウェディング市場のシェア拡大に向けて、潜在的な顧客ニーズを掘り起こす手段としてデジタルマーケティングを内製化し、集客力の向上、売上高の拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,996百万円（前年同四半期比10.7%増）、営業利益は960百万円（同246.2%増）、経常利益は973百万円（同220.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は625百万円（同455.1%増）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ① 婚礼事業

前連結会計年度（2023年4月）にオープンした「The迎賓館 偕楽園 別邸」（水戸支店）が稼働したことに加え、既存店の施行組数が減少したものの、施行単価が増加したことにより、売上高は10,325百万円（前年同四半期比8.6%増）、人件費等は増加したものの前年同四半期比で販管費率が低下したことにより、営業利益は844百万円（同130.9%増）となりました。

#### ② 介護事業

前連結会計年度（2023年3月）にオープンした「アイケアライフ伊万里」（伊万里2号店）が稼働したこと等により、売上高は312百万円（前年同四半期比13.1%増）となりましたが、人件費等の増加により営業損失0百万円（前年同四半期は10百万円の営業損失）となりました。

#### ③ 食品事業

売上高は146百万円（前年同四半期比21.4%増）となりましたが、人件費等の増加により、営業利益は24百万円（同4.9%増）となりました。

#### ④ フォト事業

前連結会計年度（2023年3月）にオープンした「studio clori.NAGOYA」（名古屋支店）が稼働したこと等により、売上高は323百万円（前年同期比200.0%増）、営業利益は96百万円（前年同四半期は65百万円の営業損失）となりました。

#### ⑤ 結婚仲介事業

売上高は7百万円（前年同期比64.9%増）、営業損失は3百万円（前年同四半期は32百万円の営業損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ662百万円減少し19,349百万円となりました。これは主に、現金及び預金が63百万円、流動資産その他が212百万円、有形固定資産が187百万円、投資その他の資産その他が130百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ114百万円減少し9,847百万円となりました。これは主に、買掛金が146百万円、短期借入金が150百万円それぞれ減少し、流動負債その他が196百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ548百万円減少し9,501百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益625百万円の計上による増加と剰余金の配当703百万円による減少の他「信託型従業員持株会インセンティブ・プラン」の再導入による自己株式の取得及び処分を行い、自己株式が463百万円増加したことによるものであります。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.1ポイント下降し48.9%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月11日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,011,277	4,947,480
売掛金	447,796	413,699
商品	204,467	225,516
原材料及び貯蔵品	91,029	121,788
その他	631,707	418,776
貸倒引当金	△9,596	△8,106
流動資産合計	6,376,681	6,119,154
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,922,911	8,686,481
土地	1,850,919	1,886,584
その他(純額)	335,850	348,819
有形固定資産合計	11,109,680	10,921,885
無形固定資産	163,724	152,782
投資その他の資産		
差入保証金	1,297,564	1,222,475
その他	1,064,353	933,449
投資その他の資産合計	2,361,918	2,155,924
固定資産合計	13,635,323	13,230,592
資産合計	20,012,005	19,349,746
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	915,516	768,830
短期借入金	150,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,114,458	1,121,648
未払法人税等	315,283	320,214
賞与引当金	373,913	380,627
その他	2,234,403	2,430,974
流動負債合計	5,103,575	5,022,294
固定負債		
長期借入金	3,132,601	3,080,332
退職給付に係る負債	25,282	25,170
ポイント引当金	13,562	13,778
資産除去債務	1,199,356	1,205,651
その他	487,545	500,608
固定負債合計	4,858,347	4,825,540
負債合計	9,961,922	9,847,834

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,655	351,655
資本剰余金	348,488	347,018
利益剰余金	9,671,036	9,593,112
自己株式	△422,560	△885,651
株主資本合計	9,948,620	9,406,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,138	—
退職給付に係る調整累計額	11,866	8,836
為替換算調整勘定	46,349	46,349
その他の包括利益累計額合計	66,355	55,185
非支配株主持分	35,107	40,591
純資産合計	10,050,083	9,501,912
負債純資産合計	20,012,005	19,349,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
売上高	9,937,211	10,996,036
売上原価	4,227,681	4,418,805
売上総利益	5,709,530	6,577,230
販売費及び一般管理費	5,432,201	5,617,000
営業利益	277,329	960,230
営業外収益		
受取利息	5,519	8,726
補助金収入	5,825	5,685
その他	30,113	13,873
営業外収益合計	41,458	28,284
営業外費用		
支払利息	9,062	9,548
その他	5,719	5,099
営業外費用合計	14,782	14,648
経常利益	304,005	973,866
特別利益		
補助金収入	67,806	39,809
特別利益合計	67,806	39,809
特別損失		
固定資産除却損	20,671	24,612
特別損失合計	20,671	24,612
税金等調整前四半期純利益	351,139	989,063
法人税、住民税及び事業税	121,224	312,361
法人税等調整額	113,143	45,668
法人税等合計	234,368	358,029
四半期純利益	116,771	631,034
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,087	5,490
親会社株主に帰属する四半期純利益	112,684	625,543

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
四半期純利益	116,771	631,034
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,797	△8,138
退職給付に係る調整額	△1,449	△3,037
為替換算調整勘定	△18,731	—
その他の包括利益合計	△5,384	△11,176
四半期包括利益	111,387	619,857
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	108,445	614,374
非支配株主に係る四半期包括利益	2,941	5,483



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	351,139	989,063
減価償却費	496,246	553,806
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,414	△4,688
賞与引当金の増減額 (△は減少)	43,136	6,713
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△7,888	△4,624
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	243	216
補助金収入	△67,806	△39,809
固定資産除却損	20,671	24,612
受取利息	△5,519	△8,726
支払利息	9,062	9,548
売上債権の増減額 (△は増加)	58,564	37,703
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△37,227	△51,807
仕入債務の増減額 (△は減少)	△81,034	△149,038
未払金の増減額 (△は減少)	△70,700	152,170
前受金の増減額 (△は減少)	302,454	9,561
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△672,303	△2,162
未収消費税等の増減額 (△は増加)	91,867	104,402
その他	38,274	△33,370
小計	464,765	1,593,570
利息の受取額	1,590	5,841
利息の支払額	△8,906	△9,508
補助金の受取額	34,206	39,809
法人税等の還付額	2,296	182,858
法人税等の支払額	△992,640	△324,004
営業活動によるキャッシュ・フロー	△498,688	1,488,567
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の売却による収入	6,873	99,598
有形固定資産の取得による支出	△1,665,785	△347,931
無形固定資産の取得による支出	△34,843	△13,092
その他	75,398	72,669
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,618,356	△188,756
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,050,000	△150,000
長期借入れによる収入	2,670,000	555,500
長期借入金の返済による支出	△325,486	△600,579
自己株式の取得による支出	△399,998	△507,198
自己株式の売却による収入	44,780	42,569
配当金の支払額	△298,410	△701,600
その他	—	△2,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	△359,115	△1,363,608
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,739	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,490,899	△63,796
現金及び現金同等物の期首残高	5,800,686	4,917,277
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,309,787	4,853,480

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。